

CO₂削減効果の総括表

「No.10 公用車の環境対応車への切替え」による効果

現車両	年間走行距離(km)	年間燃料消費量(L)	年間燃料費(円)	エコ車両	エコ燃料消費量(L)	エコ燃料費(円)	燃料費削減効果(円)	重量税減税効果(円)	CO2削減効果(kg)
普通車6台	74,387	7,385	891,995	プリウス3台 インサイト3台	2,635	313,509	578,486	340,200	11,021

※ ガソリンは119円/L、ハイオクは129円/L、軽油は104円/L で試算した。(税込)

※ 新車購入時にかかる車両重量税は、ハイブリッド車は100%減税である。

※ ガソリンを1L消費した場合、2.32kgの CO2を排出する。

「No.11 太陽光発電設備の整備」 および 「No.11-2 蛍光灯省エネタイプへの切替え」 による効果

事業	最大出力(kW)	年間発電量(kWh)	原油削減量(kl)	CO2削減効果(kg)
太陽光パネルの設置(28施設)	533	533,000	120,991	167,629
蛍光灯省エネタイプへの切替え(12, 100本)				163,838
合計				331,467

※ 年間発電量を発電量(kW)の1,000hとした

※ 日本国内においては、製品の最大出力1kW当たりの年間発電量は平均約1000kWh/kWである。設置地域によって異なり、1995～2003年度までの8年間にわたる調査例では、最も少ないのは秋田県で平均795kWh/kW/年、最も多いのは高知県で平均1116kWh/kW/年と報告されている。天候による年ごとの変動量は、全国平均で最大1割程度である。出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

※ 結晶系シリコン太陽電池によるCO2削減効果は、1kWシステム当たり年間で314.5kg。原油削減量 は、1kWシステム当たり年間で227リットルになる。(出典: 太陽光発電協会「公共・産業用太陽光発電システム」)。

上記3事業の合計

CO2削減効果(kg)	342,488
杉の木に換算(本)	24,463

本植えたことと同じ効果がある

※ 杉の木1本の年間CO2吸収量は約14kgである。